

ラバト宣言（仮訳）

アフリカ各国、すなわちアンゴラ、ベナン、ボツワナ、ブルキナファソ、カメルーン、中央アフリカ共和国、チャド、コモロ連合、コートジボアール、ジブチ、コンゴ民主共和国、エジプト、エチオピア、ガーナ、ギニア、ケニヤ、レソト、マダガスカル、マラウイ、モロッコ王国、モザンビーク、ナミビア、ニジェール、ナイジェリア、コンゴ共和国、セネガル、南スーダン、スーダン、タンザニア、トーゴ、ザンビア、及びジンバブエ、並びに日本国政府、国際協力機構、横浜市、国連環境計画 (UNEP)、国連人間居住計画 (UN-Habitat) 及びアフリカ開発銀行 (AfDB) からの参加者は、2018 年 6 月 26 日～28 日にモロッコ王国・ラバトにて開催された、アフリカのきれいな街プラットフォームの第一回年次会合に集い、

アフリカのきれいな街プラットフォームの設立を承認した、2017 年 4 月 25-27 日にかけてモザンビーク マプト市で開催されたアフリカのきれいな街プラットフォームの設立準備会合において承認されたマプト宣言に留意し、

持続可能な開発のための 2030 アジェンダや持続可能な開発目標 (SDGs) 及びアフリカ連合のアジェンダ 2063 へのコミットメントを再確認し、

年次会合をホストするモロッコ王国の貢献に満足を伴って留意するとともに認識し、

2017 年マプト市での設立準備会合以降にアフリカのきれいな街プラットフォームに参加した参加者を歓迎し、

適切な廃棄物管理は衛生・環境問題の対処だけではなく、アフリカへの投資や観光を通じてイノベーションや雇用、持続可能な経済成長を促進することに留意し、

アフリカの統合的な廃棄物管理能力を向上させるため、アフリカ各国、日本、国連機関、民間セクターそしてその他のステークホルダーとの協力やパートナーシップの著しい重要性を強調し、

モロッコ王国と日本の共同議長のもとで行われたアフリカのきれいな街プラットフォーム第一回年次会合での議論を考慮し、

参加者は、以下の努力を実行することを、ここに宣言をする。

1. 廃棄物関連の SDG 目標の達成に向けて、一貫した効果的な戦略・政策の開発のため、(i) 経験や専門知識の共有及びネットワーキングや(ii) 一般市民の意識向上、(iii) データ収集のための定義や方法論を含めたモニタリング活動を促進する。

2. 最終処分場での火災や崩落、排水汚染等の貧弱な固形廃棄物管理の慣習によるリスクを予防するため、安全かつ環境に配慮した廃棄物管理の実施を確保する。
3. アフリカにおける相互学習を含む地域、国家及び国際的な協力を通じて廃棄物管理の課題 に対処するため、政策面、制度面、組織面及び技術面の能力を強化する。
4. 廃棄物管理のために例えば官民連携（PPP）のようなマルチセクターのパートナーシップを強化するとともに、廃棄物・3R ビジネスへの投資機会を促進する。
5. 2019 年に横浜で開催される第 7 回アフリカ開発会議（TICAD7）に向けて、都市開発及びクリーンで持続可能な都市の分野での参加者間の協力を強化する。